

表彰

東日本大震災への対応や、食品衛生、社会福祉の各分野で、次の方々が国から表彰されました



震災時の積極果敢な活動評価 総務大臣表彰

久慈市消防団 (門ノ澤正浪団長・写真中央)

東日本大震災の切迫した状況の中、迅速な水門閉鎖に避難誘導、人命救助や行方不明者の捜索など、積極果敢に活動した市消防団（門ノ澤正浪団長）。市民の命を守り、

被害の軽減に努めた功労が高く評価され、同団に総務大臣表彰が贈られました。11月24日は、門ノ澤団長など3人が市役所を訪れ、山内隆文市長に受賞を報告。山内市長は、日ごろの努力と活動もたたえ、「一致団結して今後も活動を進めていって下さい」と期待しました。

門ノ澤団長は「市民の命と財産を守るため、今後も一層訓練に努め、精進していきます」と、決意を新たにしていきました。



活動の充実に最新車両

12月9日、消防車両交付式が防災センターで開かれ、市から消防団第12分団に消防ポンプ自動車1台が交付されました。さらなる活動充実に後押しする最新車両。団員は早速、車両の装備などを確認し、意識を高めていました。

第6回市読書感想文コンクール表彰式は12月3日、中央公民館で開催。各部門の入賞者に賞状などが贈られました。

「本当の友だち」と題した感想文で、小学校低学年の部の最優秀賞に選ばれた宇名澤日向くん（夏井小2年）は「友達はお金で買えないことなどを本から学びました。友達を大切にしたいです」と話していました。

各部門の受賞者

受賞者は敬称略。各部門の①は最優秀賞、②は優秀賞、③は奨励賞です。

■小学校低学年の部

- ①宇名澤日向（夏井小2年）
- ②佐々木愛惟（久慈小1年）
- ③類瀬七海（山形小2年）

■小学校中学年の部

- ①佐々木晃誠（久慈小4年）
- ②中川紗希（小袖小4年）
- ③田村優奈（侍浜小4年）

■小学校高学年の部

- ①古屋敷琴乃（平山小6年）
- ②小袖菜津実（長内小6年）
- ③松浦圭歩（久慈湊小6年）

■中学校の部

- ①赤平悠実（宇部中2年）
- ②猿舘梧楼（山根中2年）
- ③佐々木裕佳（久慈中3年）

■高校の部

- ①山口しおり（久慈高2年）
- ②瀬川桜花（久慈高1年）
- ③新山実乃梨（久慈高2年）

共同募金運動に貢献 厚生労働大臣表彰



古山宗司さん（宇部町）

驚きの受賞です。本当に感謝しています。地域の活動の一つとして、30年以上、共同募金運動に取り組んできました。長年活動を続けてこられたのは、協力してくれる皆さんと、健康のおかげです。これからも体力の続く限り、社会福祉の向上に協力していきたいと思えます。

食品衛生活動に尽力 厚生労働大臣表彰



佐々木明さん（本町）

受賞は本当にありがたいこと。食品衛生協会の一員として長年、活動してきました。食品の製造販売に携わる者にとって衛生管理は大事なことです。皆で管理を徹底し、今後も食の安心・安全を消費者の皆さんに届けていきたいと思えます。（県食品衛生協会久慈支会・常任専務理事）

岩手県交通安全ポスターコンクール 市内中学生が上位独占 最優秀賞に舩森聖風さん

（宇部中3年）

本年度の県交通安全ポスターコンクール・中学校の部で、舩森聖風さん（宇部中3年）が最優秀賞、障子上甲斐くん（山根中2年）と中田千尋さん（夏井中3年）が優秀賞を獲得。市内

中学生が、県の上位を独占するという快挙を達成しました。11月17日には、主催者である県を代表し、佐々木宏県民生活安全課長などが宇部中学校を訪問。佐々木課長は舩森さんに賞状を伝達し、「これ



■最優秀賞
舩森聖風さん
(宇部中3年)

テレビなどで交通事故を見たとき、「シートベルトを締めていれば助かったのでは」と思っていました。シートベルトは命綱。乗ったら締めるという当たり前のことを、面倒がらずやってほしいです。



■優秀賞
障子上甲斐くん
(山根中2年)

自分自身と周りの人まで危険にする飲酒運転。事故後の車を描いて危険性を訴えました。飲酒運転は絶対にやめてほしいです！



■優秀賞
中田千尋さん
(夏井中3年)

みんなが事故なく幸せに暮らせるようにと願いを込めました。子どもや高齢者にも、やさしい交通環境になってほしいです。



シートベルト着用を訴える舩森さんの作品

からも正しい交通マナーを身に付けて、交通ルールを守る大人になってください」と期待の言葉をおくりました。作品の制作指導は、市内中学校4校の美術を受け持つ関本春香先生が担当。生徒は放課後や帰宅後の時間を費やし、懸命に制作に取り組みました。結果は生徒の意欲と努力、そして交通安全を願う気持ちの表れ。私たちも交通ルールをしっかりと守っていきましょう。

気持ち忘れないで



3人を指導した
関本春香先生

私もとてもうれしいです。入賞した生徒に限らず、美術が好きな生徒が多いと感じています。制作することの楽しさや、制作が好きという気持ちを忘れないでほしいですね。



■岩手県教育長賞
大下久実さん
(久慈東高2年)

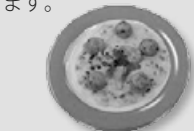
第25回いわて・秋さけ料理コンクールは11月8日、盛岡市で開催。焼き菓子「鮭とりんごの琥珀色のフェアブルトン」を作った大下久美さん（久慈東高2年）が2位にあたる県教育長賞、

大沢睦さん（同）と浜坂歩夢さん（久慈工業2年・久慈中卒）も優良賞に入賞しました。工夫と努力を積み重ね、獲得した高評価。浜坂さんは県の牛乳乳製品料理コンクールでも優良賞に輝きました。



■優良賞
大沢睦さん
(久慈東高2年)

サケの味を生かせるまめぶを作るのが大変でした。素材の意外性なども発見できて、今回は良い経験。これからも頑張ります。



「鮭とまめぶニョッキのクリーム仕立て☆」



■優良賞
浜坂歩夢さん
(久慈工業2年・久慈中卒)

味も、見た目の色にもこだわって工夫しました。簡単に作られて体も温まる料理なので、仮設住宅の入居者の方にも知ってほしいです。



「簡単!! 秋さけたっぷりサケたま」

いわて秋さけ料理コンクール 工夫と努力で高評価 高校生3人が入賞



大下さんの「鮭とりんごの琥珀色のフェアブルトン」

※入賞作品のレシピは「岩手県漁連ホームページ」に掲載されています